

第 四 編

警 察 及 衛 生 等



昭和二年 福井縣統計書

第四編(警察衛生等)目次

警 察

1 警察部職員配置 ..... 1

2 警察署職員配置 ..... 1

3 巡查警部補勤續年數及俸給 ..... 1

4 警部補退隱料遺族扶助料及諸給 ..... 2

5 巡查退隱料遺族扶助料及諸給 ..... 3

6 巡查採用及教習 ..... 3

7 警察上ノ賞與 ..... 3

8 警察共濟組合救濟金 ..... 4

9 警察上死傷者 ..... 4

10 警察電話 ..... 5

11 令狀執行件數 ..... 5

12 諸犯罪檢舉ノ一 ..... 6

13 諸犯罪檢舉ノ二 ..... 7

14 諸犯罪檢舉ノ三 ..... 8

15 未成年者喫煙禁止法違反 ..... 9

16 檢視 ..... 9

17 檢證 ..... 10

18 檢視者及檢證者 ..... 10

19 盜難 ..... 11

20 盜難物 ..... 11

21 盜難物發見 ..... 12

22 遺失物處分 ..... 12

23 賊捨置物 ..... 13

24 火災 ..... 14

25 火災原因 ..... 14

26 火災損失及死傷 ..... 15

27 消防組 ..... 15

28 自殺者 ..... 16

29 變死 ..... 16

30 自殺者ノ年齡及因由別 ..... 17

31 救護 ..... 18

32 密賣淫及媒合容止者處分 ..... 18

33 行政執行處分 ..... 19

34 集會及結社 ..... 19

35 傳遞護送及押送 ..... 20

36 銃砲火藥免許賣買 ..... 20

37 狩獵免許狀下付人員 ..... 20

38 狩獵 ..... 21

39 貸座敷及藝娼妓 ..... 23

40 演劇興行 ..... 23

衛 生

41 寄席興行 ..... 24

42 活動寫真興行 ..... 24

43 質屋及質物 ..... 24

44 質屋及古物商取締法ニ依ル徵收物件 ..... 25

45 說諭及保護 ..... 25

46 取締諸營業者數 ..... 26

47 宿屋宿泊人員 ..... 26

48 醫師 ..... 28

49 齒科醫師 ..... 28

50 藥劑師、藥種商、製藥者及阿片販賣者 ..... 29

51 賣藥 ..... 29

52 入齒、齒拔、口腔治療接骨及鍼灸按摩 ..... 30

53 看護婦 ..... 30

54 產婆看護婦理髮試驗 ..... 30

55 產婆 ..... 31

56 鍼術灸術按摩術試驗 ..... 31

57 トラホーム患者 ..... 31

58 トラホーム檢診成績 ..... 32

59 傳染病患者 ..... 32

60 傳染病患者年齡別 ..... 33

61 娼妓健康診斷 ..... 33

62 花柳病患者 ..... 34

63 中毒 ..... 34

64 屠殺檢査 ..... 35

65 衛生試驗 ..... 35

66 藥品巡視 ..... 36

67 病院 ..... 36

68 病院患者病類別 ..... 37

69 傳染病院及隔離病舎 ..... 37

70 種痘ノ一 ..... 38

71 種痘ノ二 ..... 38

72 娼妓病院 ..... 39

73 衛生ニ關スル諸犯罪處分別 ..... 39

74 乳兒及幼兒死亡者体性及年齡別 ..... 40

75 乳兒及幼兒死亡者病類別 ..... 40

76 生後ノ日數別乳兒死亡 ..... 42

77 死亡總數ト結核病死亡者數トノ比較 ..... 42

78 マラリヤ患者年齡別 ..... 43

79 マラリヤ發生月別 ..... 43

80 マラリヤ治療方法 ..... 44

2 目 次

81 精神病者	44	90 工場災害別	52
工 場		91 扶助金額支給調	56
82 工場臨検	45	92 職工貯蓄金調	56
83 適用工場年次比較	45	93 工場法違反	57
84 警察署別適用工場數	46	94 取締原動機	57
85 警察署別適用工場職工數	48	95 工場法適用工場ニ於ケル原動機	58
86 事業ノ性質危険又ハ衛生上有害ナル工場數	50	96 原動機ニ因ル災害	58
87 事業ノ性質危険又ハ衛生上有害ナル工場ノ職工數	50	雜	
88 寄宿舍ノ設アル工場及寄宿職工數	51	97 新聞紙	59
89 寄宿舍ノ設アル適用工場數及寄宿職工數	51		

總 說

警 察

警察區劃 昭和二年末現在本縣警察行政區劃ノ其ノ監督廳タル警察部ノ下ニ警察署十三ヲ置キ更ニ警部補派出所三、巡查部長派出所十六、巡查派出所二十三、巡查駐在所百五十九ヲ置キ一市百七十八ヶ町村ノ警察事務ヲ管理セシメ以テ公共ノ安寧秩序ノ維持ト縣民ノ幸福保持トニ努メツ、アリ

警察官吏 昭和二年末現在ノ警察官吏ハ警察部長一名警視四名警部二十名警部補二十六名巡查部長七十五名巡查三百九十五名總數五百二十一名ニシテ前年ニ比シ六名ヲ減セリ

巡查勤續年數 昭和二年末現在巡查總數四百七十名ヲ其ノ勤續年數別ニ觀レハ五年以上十年未滿百四十九名(三割一分)最多ニシテ之ニ亞クハ一年以上二年未滿五十六名(一割二分)十年以上十五年未滿五十名(一割一分)二年以上三年未滿四十二名(八分)等ナリ

諸犯罪 昭和二年中ノ刑法犯罪發生件數ハ二千七百六十六件ニシテ之ヲ種類別ニ觀レハ竊盜罪八百八十九件(三割二分)詐欺及恐喝罪五百七十七件(二割一分)ヲ主ナルモノトス、總件數ヲ前年ニ比スレハ百九十六件ヲ増シ逐年増加ノ傾向ナリ、而シテ檢舉件數ハ二千七百八件ニシテ最も多キハ竊盜罪六百九十二件詐欺及恐喝六百二十八件ナリ又同年中ノ警察犯其ノ他ノ犯罪發生件數ハ五千五百五十件ニシテ前年ヨリ三十二件ヲ増シタリ而シテ其ノ檢舉件數ハ五千五百五十五件ナリ

未成年者喫煙禁止法違反 昭和二年中ノ未成年者喫煙禁止法違反者ハ總數三百二十二人前年ヨリ六十六人ヲ減セリ違反者ヲ種類別ニ觀レハ喫煙者二百八十人情ヲ知リツ、喫煙ヲ制止セサルモノ三十三人煙草及器具ヲ販賣シタルモノ九人ニシテ喫煙者中煙草器具ヲ沒收シタルモノ十九人ヲ除クノ外ハ皆説諭ニ止メタルモノノミナリ

盜難物 昭和二年中ノ盜難件數ハ千七百十三件此被害價額參萬七千六百七拾圓ニシテ内通貨拾六萬六百七拾參圓(六割八分)穀類四千八百七拾參圓(二分)衣類六千八百壹圓(三分)雜品六萬五千參百貳拾參圓(二割八分)ナリ而シテ之ヲ前年ニ比スレハ八百五十八件價額貳拾壹萬千九百六拾七圓ヲ増加セリ

火 災 昭和二年中ノ火災發生度數ハ二百六十件ニシテ失火二百四十九件(九割六分)ヲ占メ放火五件(二分)雷火及不審火六件(二分)ナリ而シテ延燒セシ度數四十件延燒セサリシ度數

八十六件直ニ消止メシ度數百三十四件ナリ  
火災ニ罹リシ屋家ハ五百七十二軒内全戸燒失四百五十六軒ヲ算シ其ノ燒失總坪數八千三百三十三坪損失財產見積價額ハ百九拾萬九千四百七拾七圓ニ達セリ更ニ之ヲ原因別ニ觀レハ炬燵ニ因ルモノ四十七件最も多ク一割八分ヲ占メ焚火四十一件取灰二十六件吸殻二十件等ヲ主ナルモノトス

消防組 昭和二年末現在ノ消防組ハ百七十一組部數五百五十九ニシテ人員一萬九千三百二十五人ニテ組織ス之ヲ前年ニ比スレハ組數二、部數十四、人員六百九十一人ヲ増加セリ又ポンプ七百三十七臺ヲ有シ前年ヨリ四十九臺ヲ増加セリ

自殺者 昭和二年中ノ自殺者ハ百四十六人ニシテ男九十五人(六割五分)女五十一人(三割五分)ナリ之ヲ年齡別ニ觀レハ男ニ在リテハ五十歳以上三十五人最も多ク三割七分ヲ占メ四十歳以上五十歳未滿二十人(二割二分)之ニ亞ク又女ニ在リテハ五十歳以上十六人(三割一分)ヲ首位トシ二十歳以上三十歳未滿十四人(二割七分)之ニ亞ク更ニ之ヲ原因別ニ觀レハ病苦ニ因リ三十七人(二割五分)厭世ニ因リ二十九人(二割)精神錯亂シテ二十八人(一割九分)等ヲ主ナルモノトス

集會及結社 昭和二年中ノ政談集會ハ縣會議員選舉ノ爲著シク増加シ届出件數七百三十八件、講談論議セシ人員二千七百六十六人ニ達シ臨監セシ回數七百三十八回ナリ

政社ハ年内ニ組織セルモノ二十五件解散セルモノ七件ニシテ年末現在四十五件ニシテ前年ニ比シ倍加セリ

狩 獵 昭和二年中ニ狩獵免許狀ヲ下付セシ人員ハ七百八十七人ニシテ一等一人二等二十五人三等七百六十一人ナリ而シテ甲種ハ二百二十七人乙種ハ五百六十人ナリ

又同年中ニ捕獲セシ鳥獸ハ鳥類二十一萬二千二百八十四羽價額四萬七千五百五拾圓、獸類七千八百四十八頭價額參萬七千參百參拾六圓ナリ之ヲ前年ニ比スレハ鳥類三十三萬七千六百十三羽價額八萬七千七百七拾八圓、獸類三千七百四十八頭價額五萬參千八百拾九圓ヲ減少セリ

捕獲セシ鳥獸ノ内主ナルモノハハカモ六千九百三羽、つぐみ四萬七百三十二羽、ひよどり九千五百八十羽、あと九萬三千九百三十五羽、かしらだか六千九百九十五羽、しるばり一萬三千八百六十八羽、まみちやしない一萬三千九百六十五羽、いたち二千六百十九頭ハカモ三千六百八十三頭ナリ

## 衛 生

醫 師 昭和二年末現在ニ於ケル醫師ノ總數ハ三百九十二人  
内女醫五人ニシテ前年ニ比シ八人ヲ増加シ醫師一人ニ對スル  
現在人口ハ千四百八十九人ニ當レリ而シテ之カ分布ノ狀況ヲ  
觀ルニ福井市九十二人今立郡五十四人坂井郡五十人ハ多キ地  
方ニ屬シ三方郡九人大阪郡七人カ最モ少ク其ノ他ノ郡ハ十四  
人乃至三十人ナリ尙之ヲ經歷別ニ觀レハ其ノ主ナルモノハ大  
學卒業五十三人(一割四分)官公立專門學校卒業二百三人(五  
割二分)試験及第九十人(二割三分)指定私立專門學校卒業十  
四人(四分)從來開業二十二人(六分)ナリ

齒科醫師 昭和二年末現在ニ於ケル齒科醫師ハ六十人内女齒  
科醫師二人ニシテ前年ニ比シ二人ヲ増セリ而シテ其ノ經歷ハ  
學校卒業三十四人試験及第二十六人ナリ

トラホーム檢診 昭和二年中ニ於ケルトラホーム檢診人員ハ  
四萬四千二百二十二人内患者ト決定セラレタル人員ハ九千三  
十人ニシテ檢診人員百ニ對スル患者ノ百分比ハ二〇人三六ノ  
割合ナリ

患者ト決定セラレタル人員中重症千八百八十五人(一割三分)輕  
症五千三百三十四人(五割九分)疑似症二千四百八十四人(二  
割八分)ナリ

傳染病患者 昭和二年中ノ傳染病患者ハ四百二十四人ニシテ  
前年ヨリ八十四人(二割六分)ヲ増セリ而シテ腸窒扶斯最モ多  
ク三百二十一人七割六分ヲ占メ之ニ次クハ實扶埜里亞六十六  
人(一割六分)赤痢十八人(四分)パラチフス八人(四分)猩紅熱  
一人ナリ又患者百人中死亡率及其ノ實數ヲ觀レハ次ノ如シ

	百分率	實數	百分率	實數
猩紅熱	100.00	1	55.55	10
實扶埜里亞	22.73	15	23.67	76
パラチフス	5.55	1		

花柳病患者 昭和二年中病院又ハ開業醫ニ於テ取扱ヒタル花  
柳病患者ハ七千五十五人ニシテ内男四千五百五十八人(六割  
五分)女二千四百九十七人(三割五分)ナリ之ヲ前年ニ比スレ  
ハ男五百九十六人(一割一分)ヲ減シ女七十人(三分)ヲ増シ總  
數ニ於テ五百二十六人(七分)ヲ減少セリ

更ニ之ヲ病類別ニ觀レハ梅毒二千三十二人(二割八分)癩毒三  
千五百二十四人(五割)軟性下疳千七十六人(一割五分)横痃四  
百二十三人(六分)ナリ

病 院 昭和二年末現在ノ病院數ハ十二ニシテ年内患者總人  
員ハ六萬五千八百八十八人内男三萬四千五百四十五人(五割二  
分)女三萬三千三百七十三人(四割八分)ニシテ前年ニ比シ九百

五十七人ヲ減セリ

患者ヲ病類別ニ觀レハ呼吸器病一萬四千三百八十八人(二割  
三分)最モ多ク神經系及五管病一萬二千九百七十九人(二割  
一分)之ニ亞キ消化器病一萬二千八百五十八人(二割一分)泌  
尿及生殖器病八千四百七十二人(一割四分)皮膚及筋骨病五千  
九百四十三人(九分)ヲ主ナルモノトス而シテ呼吸器病ノ内肺  
病ハ二千四百六十六人ナリ

乳兒及幼兒死亡 昭和二年中ニ於ケル乳兒及幼兒死亡者ハ三  
千七百九人 内男千九百十六人(五割二分)女千七百九十三人  
(四割八分)ニシテ前年ニ比シ百九人ヲ増シ總死亡百ニ付男二  
十五人三八女二十一八五ノ割合ナリ

之ヲ年齢別ニ觀ルニ一歳未満六割六分二歳未満一割九分三歳  
未満八分四歳未満五分五歳未満二分ノ比例ナリ而シテ更ニ之  
ヲ病類別ニ觀レハ消化不良五百五十八人(一割五分)首位ヲ占  
メ次キハ肺炎及氣管支肺炎四百四十一人(一割二分)發育不全  
三百三十三人(九分)先天性弱質二百八人(六分)等ヲ主ナルモ  
ノトス

## 工 場

適用工場 昭和二年十月一日現在ノ適用工場數ハ九百三十内  
染織工場六百十五(六割六分)機械器具工場五十四(六分)化學  
工場七十九(八分)雜工場百二十六(一割四分)特別工場四十七  
(五分)ニシテ前年ニ比シ六十八人ヲ増シ五年前ノ大正十一年ニ  
比スレハ四百四十一ノ激增ヲ示セリ

又事業ノ性質危險又ハ衛生上有害ナル工場數ハ三百二ニシテ  
動力ニ依ル製材工場最モ多ク百十五ヲ算シ石灰製造五十電氣  
業四十五金屬骨角又ハ貝殻ノ乾燥研磨三十四製綿二十二等ヲ  
主ナルモノトス

工場災害 昭和二年中ニ於ケル工場災害ニ因ル死傷者ハ百七  
十八人ニシテ内死亡者男六人負傷者男百三十四人女三十八人  
ナリ而シテ死亡者ヲ出シタル災害原因ヲ觀ルニ次ノ如シ

	死亡者	負傷者
調帶調車調帶車類ニ因リ	一 人	五 人
車軸ニ因リ	二 人	九 人
加工中ノ物體ニ因リ	一 人	四 人
物體ノ落下顛倒又ハ飛來ニ因リ	一 人	二一人
熱湯其ノ他高熱物體ニ因リ	一 人	二〇人